

# 造影剤を使用する検査を受けられる方へ

## ＜造影剤について＞

造影剤は、体内の病変を造影剤を用いない場合より鮮明に抽出する必要があると判断される場合や、診断をより正確に行う必要があると判断される場合に使用します。通常、静脈内に注射にて投与します。腎機能が正常な方であれば速やかに腎臓から尿として排出されます。

## ＜造影剤の副作用について＞

### ①副作用の種類

#### ☆CT、尿路造影などで使用するヨード造影剤の副作用とその頻度

副作用の程度	発現率	症状
軽症	100人に3人程度（約3%）	吐気、嘔吐、かゆみ、じんましん、熱感など （治療の不要なものがほとんど）
重症	2.5万人に1人（0.004%）	血圧低下、呼吸困難、意識消失、心停止、腎不全など。
死亡	40万人に1人（0.00025%）	

※遅延性副作用：100人に5人程度（約5%）の頻度で1時間～1週間の間起こるとされ、頭痛、吐き気、めまい、じんましん等の症状を起こします。

### ②副作用の高くなる要因

- ・今までに造影剤やヨード過敏症による症状を起こしたことがある方。
- ・気管支喘息、アレルギー性疾患のある方
- ・腎機能障害のある方
- ・糖尿病用薬（ヒグアナイド系）を服用している方（検査の前後中止必要）・・・造影CTの場合
- ・甲状腺機能亢進症の方・・・造影CTの場合

### ③副作用発生時の対応

検査中は、何かあれば即座に最善の対応を致します。遅発性副作用については、何か気になる症状があらわれた場合当院までご連絡下さい。

## ＜血管外漏出（注射漏れ）について＞

検査内容によっては、勢いよく造影剤を注入するため、血管外に造影剤が漏れることがあります。この場合は注射した部位が腫れて痛みを伴う場合があります。通常は時間がたてば吸収されますので心配ありませんが、漏れた量によっては処置が必要になることもあります。

## ＜検査終了後＞

造影剤を早く体の外へ出すために水分制限のない方は積極的に水分をとって下さい。